



**地域に愛され70年の歴史を祝う
美崎小学校70周年記念式典・祝賀会**

町立美崎小学校は今年で創立70周年を向かい、11月5日、同校体育館において記念式典・祝賀会が行われました。会場には在校生や保護者のほか、卒業生などが駆けつけ、70周年を祝いました。全校生徒42名による校歌斉唱や合唱は少人数とは思えないほどの元気な歌声に参加者も一緒に笑顔で口ずさんでいました。美崎小学校の合言葉「しにうむさん」は今も変わらず、生徒や教員らは常に楽しい学校生活・教育を送っている様子が伺えました。

**心豊かな地域コミュニティ作りを目指して！
比嘉公民館落成式**

準備・計画から4年余りの歳月をかけ完成した比嘉公民館の落成式が行われました。10月14日(土)午後3時から比嘉公民館前で行われた落成式では、沖縄防衛局や関係者が見守る中、除幕式、協定書の締結等が行われました。引き続き午後3時50分からは「公民館落成式並びに比嘉誌発刊祝賀会」が行われました。約400人の参加のもと、民謡や舞踊、空手などの演舞のほか、子ども会によるエイサーなど多彩なプログラムで祝いました。



**ふるさとの母校を思い70年目の節目を祝う
綿花学園大同窓会**

旧具志川中学校の1期から35期までの同窓生が集まる綿花学園創立70周年の同窓会が10月14日、自治会館(那覇市)で行われました。綿花学園とは1974年の同校創立時に当時の校長が「木綿花節の歌意を教育の基盤とする」と宣言し、学校名の呼称として名づけたもの。同窓会には約400名が参加し、中学時代の思い出やその後の人生を語り合うなど、お互いの親睦を深め、参加者全員で木綿花節を踊り、今後の母校の発展を祈念しました。



**文化の秋に伝統文化を鑑賞
久米島町文化祭**

11月3日の文化の日に久米島町文化祭が具志川改善センターで開催されました。町文化協会の主催により民謡、琉球舞踊、琴、フラ、空手など会員らの日ごろの活動の発表が行われました。同会は今年10月に、伝統芸能保存会、古典民謡実行委員会と統合して体制を新しくし、会長には島袋完英氏が就任しました。12月には伝統芸能発表会を予定しており、今後の伝統文化の継承の強化が期待されています。



県産の花でフラワーアレンジメント

10月18日、清水小学校体育館でフラワーアレンジ教室(沖縄花き園芸協会)が行われました。5・6年生約50人は、講師の花屋のスタッフから説明を受けながらガーベラやバラなどを生けました。同じ花材を使っても、個々の個性がでるフラワーアレンジが完成しました。この教室は、楽しみながら花きへの興味と、県産花きを知ってもらおうと2006年から県内小中学校で開催されており、今年は大岳小学校・西中学校・球美中学校でも行われます。

**道が無い川も山も自由に走るバス！
テーマ「あったらいいな、こんなバス」**

「かなえ!夢バス図画コンクール」(わったーバス党)で大岳小3年の小川陽翔君の作品が最優秀賞に選ばれました。ホタレンジャーで活動している陽翔君は、クメジマボタルの光りをエネルギーに替えて走る「リュウキュウヤマガメバス」を島の生き物や自然で表現。作品はバス車体にラッピングされ、沖縄本島4路線で来年3月31日まで運行されます。コンクールでは、そのほか東陽バス賞に中島和奏さん(大岳小2年)、入賞に玉城陽さん(仲里小1年)が選ばれました。



**安心して子育てできる島を目指して
いいお産の日×くがに子育てフェア開催**

「いいお産の日×くがに子育てフェア」が、11月12日に旧久米島中学校体育館で行われました。これは、安心して妊娠・出産・子育てができる島を目標として催されました。県内の産院や、町内の放課後児童クラブ・習い事情報の掲示、アフリカンバンド「tumba」によるジャンベ演奏などが行われ、約150人の親子が来場しました。また、公立久米島病院の助産師と、妊婦さん、お母さんたちによる座談会が開かれ、妊娠中の話や出産に関する悩みなどを話し合いました。



**世界では約8億人が栄養不足
世界食料デー**

第16回世界食料デー久米島大会が10月16日、具志川改善センターで行われました。大会では日本国際飢餓対策機構の田村治郎氏の講演と同機構親善大使のManamiによるライブが行われました。世界食料デーとは、世界の食料を考える日として国連が制定したもの。日本では10月を「世界食料デー」月間とし、飢餓や食料問題を解決するために行動することを、NGO/NPOや国際機関と一緒に呼びかけています。